

開講日	2013年秋期 木曜日 18:30-20:00	講義場所	病院西棟 臨床シミュレーションセンター (No. 12: 研究棟11階講義室B)
コースディレクター (ツアークンダクター)	名古屋市立大学病院 分娩成育先端医療センター 副センター長 尾崎康彦		

科目概要 および 期待される 成果	<p>【概要】分娩は“千人千色”。でも願いは一つ。“安全なお産”です。少子化の進む日本でも、ハイリスク分娩は増加しています。またひとつひとつの妊娠や分娩に関わる医療も、より濃厚なものになってきています。世界に誇る高い日本の周産期医療レベルを維持するため、分娩に携わる医師、助産師、看護師、救命救急士らがより高い知識と技術を身につけることが重要です。今回初めてのツアーに参加される方々や、更なる“極み”や“振り返り”を追求したいリピーターの方々にもきっと満足していただけますよう、周産期現場のライブ感溢れる“Birth Tour 2013”には是非ご参加下さい。スタッフ一同お待ちしております。</p> <p>【期待される成果】今、日本は依然として深刻な産婦人科医師、助産師不足です。30歳代までの産婦人科医師の約70%が女性医師であり、出産や育児によって休業した医師や助産師の現場復帰をサポートすることが今後の日本の周産期医療を支えるために重要です。最新の周産期医療を学び、自信を持って即戦力としての現場復帰を支援することを目標とします。また、助産師や看護師が超音波検査や分娩監視装置を学ぶことで不足する産科医と協力し、サポートし合うことができます。院内助産所の開設を促進したり、さらに初期研修以降産科を学ぶ機会が少なかった医師や救命救急士が、妊婦を診察するケースにおいて役立つ知識や技術を習得することができます。周産期医療従事者の“サロン”的な場を提供します。</p>
目標とする 資格	<p>将来、新生児蘇生法(日本周産期・新生児医学会)やALSO (Advanced Life Support in Obstetrics) Japanなどの講習会を受講し、資格の取得を目指す方に役立つ内容を盛り込んでいます。(尚、教材及び講義内容は重複しません。)</p>

サブカテゴリ	No	タイトル	講義概要	開講日	講師(所属)
S-1	1	Birth Tour “妊娠の始まり”	妊娠までの“それぞれ”の道のり。それはひとつの“ART”かも知れません。そして“おめでたですよ!”の瞬間、喜びと不安の中での冒険の始まりです。“安全なお産”を目指して我々も旅の準備をしましょう。頼れる伴走者として。	9月5日	副センター長 尾崎康彦 名古屋市立大学病院 分娩成育先端医療センター
L-1	2	妊婦健診 Up to Date Part 1 “今どきの妊健って何?”	産婦人科診療ガイドライン(産科編)が2008年(2011年に改訂)に発表され、妊婦健診(妊婦健康診査)のコンセンサスが明らかになりました。最新の妊婦健診に乗り遅れないようにしましょう。2014年度版の情報もこっそり漏らします。	9月12日	副センター長 尾崎康彦 名古屋市立大学病院 分娩成育先端医療センター
L-2	3	出生前診断法の実際	生まれる前に分かる病気があります。当院の臨床遺伝医療部のやっている、最新の出生前診断や遺伝カウンセリングについて学びましょう。	9月19日	准教授 鈴森 伸宏 名古屋市立大学病院 臨床遺伝医療部
L-3	4	赤ちゃんが見える:超音波診断法	1980年代半ば以降、超音波断層法により産科のブラックボックスに光が射し込みました。妊娠初期から分娩まで、妊婦健診に必要な超音波検査法について紹介します。	9月26日	助教 熊谷 恭子 名古屋市立大学大学院医学研究科 産科婦人科学
L-4	5	妊婦健診 Up to Date Part 2 “合併症・母児感染症編”	母体の感染症は胎盤や産道を経由して垂直感染を起こします。お腹の中の赤ちゃんを守るために、正確な母児感染症の知識を学びます。命の“TORCH”をかざしましょう。	10月3日	副センター長 尾崎康彦 名古屋市立大学病院 分娩成育先端医療センター
S-2	6	超音波断層検査法:シミュレーションPart 1 基礎編	L-3で学んだ超音波検査法をシミュレーターを用いて理解を深めます。実際に“出来る!”を目標にしましょう。	10月10日	副センター長 片野 衣江 名古屋市立大学病院 臨床シミュレーションセンター 副センター長 尾崎康彦 名古屋市立大学病院 分娩成育先端医療センター 助産師 加藤 みか・村上 佳織 名古屋市立大学病院 8北病棟
S-3	7	超音波断層検査法:シミュレーション Part 2 応用編	「子供の使いじゃあないんだからさあ!」というやる気の声に応えます。今回は本物の超音波機器を用意します。S-2で得た基礎力をここで一歩先のレベルへ進めましょう。	10月17日	副センター長 片野 衣江 名古屋市立大学病院 臨床シミュレーションセンター 副センター長 尾崎康彦 名古屋市立大学病院 分娩成育先端医療センター 助産師 井上 文恵・加藤 真衣 名古屋市立大学病院 8北病棟
L-5	8	ダブルフューチャープログラム 1 ① 最強の助産師外来 ② “黙る子も啼く”新生児蘇生法	「いざという時に、実際に頼りになるのは助産師さんですよ。」と、賢い妊婦さんは既に気づいています。妊婦さんの心身を産前産後にサポートする助産師外来が大評判です。2010年に改訂された最新の新生児蘇生法も学びましょう。	10月24日	大林 伸太郎 かすがいマタニティクリニック 助産師 上原 加菜子 名古屋市立大学病院 8北病棟
S-4	9	ダブルフューチャープログラム 2 ① “妊婦さんに優しい世界”を目指して! ② “グレードA”を目指して:超緊急帝王切開に挑む!	今年もスペシャルゲストをお迎えします。TVでも紹介されています。小坂先生の“Mommy Tummy”の世界へようこそ! 真の緊急帝王切開術にいかに向かうのか。そこにあるべき“グレート(共通理念)”とは何か。当院での購入に至る、長く曲がりがつった経緯と取り組みを紹介させていただきます。	10月31日	助教 小坂 崇之 “工学博士” 神奈川工科大学 大林 伸太郎 かすがいマタニティクリニック
S-5	10	新生児蘇生法:シミュレーション編	講義で学んだ最新の“児受け”をスーパー助産師が優しく手ほどきします。新生児蘇生法インストラクターが正しい蘇生法を指導します。いまだに“頭が出たらすぐ鼻から吸っていませんか?逆さずりは新生児産待です。”	11月7日	大林 伸太郎 かすがいマタニティクリニック 助産師 石川美江・太田 優美 名古屋市立大学病院 8北病棟
S-6	11	“well-being”を目指して:胎児・胎盤機能検査	胎児の“元氣”を把握するための検査方法を紹介。特に最近クワイアリアが発表され、にわかに議論の活発な胎児心拍数モニタリング法を先取りしましょう。しかし、胎児機能検査は超音波と分娩監視装置だけではありません。温故知新。懐かしい方法も再認識します。	11月14日	副センター長 尾崎康彦 名古屋市立大学病院 分娩成育先端医療センター
L-6 (講義室B)	12	異常分娩が来た!	“1リットルの涙”を知っていても“500mlの分娩時出血”はほとんど知られていません。“お産の安全神話”はこのように時に音も立てずに崩壊します。異常分娩のサインを見落とさないように。あってはならないその時に備えましょう。	11月21日	講師 佐藤 剛 名古屋市立大学大学院医学研究科 産科婦人科学
S-7	13	分娩なう:緊急帝王切開術編	正常分娩のみならず骨盤位分娩介助術、鉗子・吸引分娩術をシミュレーターを用いて学びます。急変に対応し緊急帝王切開術の介助を行います。スペシャルゲストの“ティープ”な“匠の技”に遭遇できるかも知れません。	11月28日	副センター長 尾崎康彦 名古屋市立大学病院 分娩成育先端医療センター
S-8	14	CSC(臨床シミュレーションセンター)スタンダラリ	名古屋市立大学の臨床シミュレーションセンターは世界最高クラスのシミュレーターを配して、2011年春にオープンしました。最新の周産期・新生児シミュレーターを独り占めて、ロールプレイに備えましょう。	12月5日	副センター長 尾崎康彦 名古屋市立大学病院 分娩成育先端医療センター 助産師 太田 優美・加藤 綾・村山 佳織 名古屋市立大学病院 8北病棟
L-7	15	Birth Tour Final “誕生 Live 2013”	みなさんを手術室にお連れします。“オベ出し”、“児受け”や“お迎え”で今まで見ることの出来なかった臨場感溢れる現場の動画とともに、術中のチェックポイントを解説します。貴方は既に“安全なお産”をサポートできているはず。Birth Tourを振り返りながら、誕生の喜びをかみしめましょう。そして次なる“旅”を目指して!	12月12日	副センター長 尾崎康彦 名古屋市立大学病院 分娩成育先端医療センター

S:シミュレーション形式 L:講義形式